



社協氷上支所ぷちホッと通信

令和5年 **7月**号
vol. 47

ふれあい・いきいきサロン交流会

7月6日(木)に氷上地域で実施されている、ふれあい・いきいきサロンの運営に携わっておられる方を対象に交流会を開催し42名と多くの方に参加いただきました。

今回は、サロン活動を通して日頃から地域の交流・見守りにご尽力いただいているみなさんに、心とからだも少しでもリラックスできるように、青垣でヨガの民泊「LOKATE(ロカテ)」をされている『紀 智子先生』を講師にお迎えして、イスを使った簡単なヨガを体験頂きました。ヨガ体験後には情報交換会を行い、サロンの活動内容や開催の様子、困りごとの相談など、様々な話が出ました。交流会後のアンケートでは「ヨガも情報交換会も良かったです」や「有意義な時間でした」といった感想もいただきました。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！



紀 智子先生



イスヨガ



情報交換会

暑中お見舞い申し上げます！



丹波市社協では、75歳以上のおひとり暮らしの方を対象に、暑中見舞いハガキを送っています。

民生委員児童委員様に対象の方を確認いただき、ハガキは毎回、絵手紙ボランティア「へたの会」と氷上中学校生徒のみなさんにお世話になっています。3年前からは東小学校の児童のみなさん(今年の暑中見舞いは6年生)、1年前からは柏原点訳グループさん(目の不自由な方への点訳)にも協力いただいています。

「へたの会」さんは色鮮やかなぶどうが描かれた絵手紙を、氷上中学生は学校での生活や部活動を頑張っていることなどを、東小学校6年生は、挿絵を描いて、夏休み中に頑張りたいことや鼓笛を頑張っていることなどが書いてあり、それぞれが個性いっぱいの暑中見舞いハガキになっています。

対象者の方は、ハガキが届くのを楽しみにお待ちくださいね♡



みなさん、丁寧に
気持ちを込めて書いて
くれました♡



工夫を凝らした暑中見舞いはがきができました。

安心して暮らせる地域を目指して

高齢者などが安心して生活できる地域を目指して、全国で『支えあい推進会議』が実施されています。
氷上地域でも 6、7 月に中央、生郷、葛野、沼貫、幸世のすべての地区で支えあい推進会議を実施されました。



支えあい推進会議って何？

各地区で自治会長や民生委員・児童委員、ボランティア、住民、福祉専門職など様々な立場の方が集まり、高齢者などが安心して生活できる地域を目指して住民主体での話し合いが行われています。



写真左上：中央地区マップづくり 右上：生郷地区研修会でのワークショップ 左下：葛野地区研修会 右下：幸世地区第 1 回目の会議開催

《各地区の取り組み》

中央 子ども、高齢者、障がい者など様々な目線で感じる中央地区の危険箇所や集いの場をまとめた『中央気になるマップ』づくりを小学校 PTA や小学校、こども園、企業などと連携して取り組んでおられます。

生郷 災害時に備えた平時からの繋がりづくりなどについて講師を迎え研修会を実施し、各自治会での支えあいの取り組みの参考となるよう取り組んでおられます。

葛野 災害時に声掛けなどの支援が必要な避難行動要支援者の把握を話し合いの中で作成した『支えあいカード』を活用し、自治会長、民生委員・児童委員、民生児童協力委員で連携しながら取り組んでおられます。

沼貫 黄色い旗を玄関先に朝出して夜にしまうことで、今日も元気で暮らしていることを近所に伝える。また、近所に目を向けるきっかけづくりとして『黄色い旗で「元気の証」事業』に取り組んでおられます。

幸世 75歳以上の高齢者を対象にアンケート調査を実施し、今年 7 月よりアンケート調査の結果を基に話し合いをされています。